

「製造現場における5Sの実践」について考える ①

(JASMEQアドバイザー 佐藤 邦裕)

アドバイザー着任のご挨拶

2018年4月からアドバイザーとして協同組合 JASMEQ のお手伝いをさせていただくことになりました佐藤邦裕と申します。2013年より(公社)日本食品衛生協会に勤務しております。その前25年間ほど日本生活協同組合連合会にて品質管理業務についておりました。コープ商品の製造委託先点検や苦情対応などが主な仕事でしたが、2010年以降は海外の製造委託点検業務も経験してきました。

JASMEQ アドバイザーとしての初仕事として、これまで監物・中村・両顧問が執筆してきた「食品製造 QC 通信」を分担させていただくことになりました。テーマについては製造現場の基本ルールである「5S の実践」から取り組んでいきたいと思っております。

今回から 5S の実践についてシリーズで解説していきますが、経験の浅い新人さんでも分かり易いように出来るだけ専門語を使用せず丁寧に解説していきたいと思っております。皆さんとはこの先長いお付き合いになりますが、忌憚のないご批判、ご意見などいただければ幸いです。

※職場には経験の長いベテランの方もいれば、着任したばかりの新人さんもいます。ベテランの方から見ると当たり前のように思えることでも経験の浅い方には意味が良くわからないことも多いのではないかと思います。5S の実践には全員の理解や認識が必要不可欠です。ベテランの皆さんにはまどろっこしく感じる部分もあるかと思っております、ご了承ください。

「製造現場における5Sの実践」について考える ①

1. 誰でも知っている（と思っている?!）5S

5Sは整理・整頓・清掃・清潔・しつけのサ行で始まる言葉の頭文字であることは良く知られています。この5つの言葉は私たちの生活の中に深く根ざした言葉で専門語でも何ともありません。当たり前のことですが、こうした当たり前のことが実は一番厄介なのです。

例えば、整理とは「いるものといないものを区別し、いないものを処分する」と定義されるのが一般的です。製造現場で毎日使用している工具や備品、皆さんの職場ではいるものといないものが区別されていますか? 「勿論区別してます。当然でしょ!!」なんていう皆さんの声が聞こえてきそうですが、それはご自身の理解であって、同じ部署で仕事をしているAさんやBさんは違った意見を持っているかも知れません。職場で5を実践しようとしたとき、これでは困りますね。毎日使っている工具や備品の必要性や数量が人により違っていたら管理は出来ません。

5Sの定義

整理	いるものといないものを区別し、いないものを処分する
整とん	いるものの置く場所、置き方、置く量を決めて、識別する
清掃	ゴミや汚れがないように掃除する
清潔	3S（整理・整とん・清掃）を維持する
しつけ	整理・整とん・清掃・清潔における約束ごとやルールが守られるための教育、訓練

2.整理と整頓から始めよう

5S実践のスタートは整理と整頓からです。整理と整頓の対象を工具箱と清掃用具収納ボックスを例に考えてみましょう。工具箱や清掃用具収納ボックスはどちらの職場でも使われている(設置されている)ツールだと思います。5Sは本来職場全体を対象として実践していくもので、対象を限定して進めるものではありませんが、ここでは考え方の基本を理解してもらうことを優先して管理対象を絞って考えてみます。管理の基本は共通ですから、管理の仕組みが理解できたら、更に対象範囲を広げて実践します。

【工具箱の整理・整頓】 ついでに定位置管理の基本

手順1：工具箱に収容する工具を決めリスト化する

職場に設置されている工具箱内に収納されている工具を日常的に使用している現場の従業員さんが必要な工具の種類と数を決め、リスト化します。数については、必要最小限の数(予備やスペアはいけません)を決めます。決まったら書き出してリスト化します。大げさに言うと文書化ですが、難しく考えずに工具箱の蓋に直接書き込んだり、テプラなどに記録し貼付します。



左側のボックスでは、六角レンチ、右側のボックスではスケールやナイフ、カッター、ヘラがそれぞれ複数配置になっていますが同時に使用される道具なので1個では作業に差し支えることから複数としています。こういう細かいことは作業に従事している現場の作業員の方しか分かりません。作業員の皆さん自身が必要な工具と数を決めるのが基本です。

一旦これが確定したら、作業の終了時や開始時にはこの状態になっていることが基本です。この状態が正常であり、基本であることを忘れないで下さい。製造品目の増加やラインの変更により、ボックス内に収容すべき工具の数や種類を変える必要が出てきたら、改めて従業員の皆さんで相談し変更します。変更日は必ず記録に残るようにします。箱の上蓋に〇年〇月〇日より変更と書いておけばよいだけの話です。変更日以降は新しき決めた内容が正常となります。一旦決めたルールは守りましょう。例外は認めません。工具箱にねじやワッシャーが入っていることがあります。「作業場で床に転がっているねじを拾って工具箱に入れた。拾わずに放置しているより良いではないか」と言う人がいるかも知れませんが、これは問題の捉え方が違います。拾ったねじを収容する容器は工具箱とは別途に準備することが必要です。

以上

次回7月号では、手順2から解説いたします。

<編集後記>

■「第9回 商品事故削減会議」のご案内

- 1、日時：2018年7月9日（月）14：30～ 受付
削減会議 15：00～17：20 懇親会 17：30～
- 2、開催場所：パルシステム生活協同組合連合会 本部 2F 第1会議室
東京都新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿
- 3、議題（予定）：「パルシステムの物流事故削減」、「物流再編について」

■「におい体験トレーニング」のご案内

- 1、日時：2018年7月26日（木）13：40～16：40
- 2、開催場所：出光新宿ビル 3階会議室（東京都新宿区大久保2-3-4）
（協）JASMEQ の入っているビルの3階です
- 3、内容： ①ガイダンス「異臭苦情の対応・対策のポイント」
②「臭い体験トレーニング」
※人によって臭いの感じ方の違いを、実体験していただきます
- 4、参加費：JASMEQ組合員・賛助会員3,000円、 一般（組合員・賛助会員以外）5,000円

■「JASMEQ 通信教育 初級・中級」のご案内

- 1、募集：初級12期生・中級4期生の募集
 - 2、内容：①初級：比較的経験の浅い従業員に食品工場の基本ルールや必要な知識を、学んでいただく。
②中級：リーダー、責任者クラス及びその候補者の従業員対象で、改訂食品衛生法が要求する「HACCP義務化」に即して、「HACCPの基本」と「工場の製造品のHACCP管理」について学んでいただきます。
 - 3、受講期間：7月上旬～11月末で、4単元を毎月学習し、「回答（レポート）」を提出する。
- ※ 詳細及び参加希望の方は、JASMEQまでお問合せ下さい。

■ご意見、質問等ありましたら、下記までお送り下さい。

■皆様には、BCCでお送りしていますが、関係者への送付希ありました紹介（メールアドレス等）下さい。また、今後不要な方もお手数ですが連絡をお願いします。

協同組合JASMEQ(ジャスメック) 監物今朝雄・中村優・佐藤邦裕

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル 4階

Tel 03-6205-6677 Fax 03-6457-675

E : k.kenmotsu@jasmeq.com

E : m.nakamura@jasmeq.com

E : k.sato@jasmeq.com

皆様のご意見、感想をお待ちしています。（直接メール返信でも結構です）

ご意見、感想

お名前 _____（匿名希望は希望ペンネーム等）

御社名 _____（ 公開可 非公開希望 ）

次号以降への掲載 _____ 掲載希望 _____ 掲載は希望しない。 _____

（以下、自由に記載いただきメール、及びFAXで送信下さい。）

題名（無くても結構です）